

事務事業マネジメントシート(平成25年度実績と平成26年度計画)

平成27年 1月 9日 更新

事務事業名	熊本北部流域下水道事業建設費負担事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	2	緑豊かな環境と共生するまちづくり		所属部	水道局	課長名	可徳 精至
	施策	10	水環境の保全		所属課	上下水道課	担当者名	中山 大志
	基本事業	30	水質の浄化		所属班	庶務料金班	(内線)	1164
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	下水道法	成果優先度評価結果 : ⑤
	下水	2	1	2	10225			コスト削減優先度評価結果 : -
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 25年度で終了 <input type="checkbox"/> 25年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	熊本北部流域下水道施設の建設費(浄化センター、ポンプ場、幹線管渠の設計、築造、増・改築、更新等)に要する費用を負担する。昭和57年に熊本県が事業主体となり、旧合志町、熊本市、菊陽町の3市町による北部流域関連公共下水道事業により、旧町民の衛生的で快適な暮らし、河川の水質保全のために開始。供用開始より20年近く経過しているため、5年前と比べ下水道施設の老朽化が見受けられる。また、処理区域を拡大(H15年、植木町編入)したため、下水道施設の増・改築に伴う建設負担が主となっている。 平成21年度に熊本市と植木町が合併した。(現在の構成は、熊本県、熊本市、合志市、菊陽町の1県、2市、1町)平成25年度よりセミコンテックパーク汚水中継ポンプ場施設工事に伴う負担金を本事業に組み入れた。 平成25年度に合志市の単独公共下水道処理区の北部流域下水道への編入が決定した。平成27年度完了見込み。
【業務の流れ】	・熊本北部流域下水道施設の建設費に係る合志市の負担算出の協議、検討、支払い事務 ・セミコンテックパーク汚水中継ポンプ場施設工事に伴う負担金の協議、支払い事務
【主な予算費目】	負担金、補助及び交付金
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	熊本県から、熊本北部浄化センターの事業費精算(H25事業)において誤りが生じたため、H26年度中に構成市町(熊本市、菊陽町、合志市)へ返還したい旨の協議があった。平成25年度の建設費負担に対しては、財源として下水道事業債を起しているため、起債の繰上償還の発生や既借入額によって生じた利子の負担問題など、県、関係機関及び構成市町との調整が必要となる。このことにより各構成市町では予算措置を行う必要も生じる。(本市への返還額=2,551千円、起債繰上償還額=2,600千円)

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 25年度実績(25年度に行った主な活動)(DO)	26年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
・熊本北部流域下水道施設の建設費に係る合志市の負担算出の協議、検討、支払い事務 ・セミコンテックパーク汚水中継ポンプ場施設工事に伴う負担金の協議、支払い事務 ・熊本北部流域下水道への編入のための協議、検討、調査、実施等の事務	・熊本北部流域下水道施設の建設費に係る合志市の負担算出の協議、検討、支払い事務等 ・セミコンテックパーク汚水中継ポンプ場施設工事に伴う負担金の協議、支払い事務 ・熊本北部流域下水道への編入のための協議、検討、調査、実施等の事務
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア: 建設負担金 千円 イ: セミコンテックパーク汚水中継ポンプ場施設工事に伴う負担金 千円	・熊本北部流域下水道事業建設負担金の減に伴う減
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)
① 熊本北部流域下水道 ② セミコンテックパーク内下水道事業	→ ア: 熊本北部流域下水道建設負担金に占める合志市の割合 % イ: セミコンテックパーク汚水中継ポンプ場施設工事に占める合志市の負担割合 %
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)
① 適正に運営できるようにする。 ② 適正に運営できるようにする。	→ ア: 適正に精算された割合 % イ: 適正に精算された割合 %
*③成果指標設定の理由と26年度目標値設定の根拠	
負担金が適正に精算されることにより熊本北部流域下水道及びセミコンテックパーク内下水道事業が適正に運営されることに繋がると考えた。	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	23年度 実績(決算)	24年度 実績(決算)	25年度 目標(当初予算)	25年度 実績(決算)	26年度 目標(当初予算)	27年度 予定	28年度 見込	29年度 見込	
① 活動指標	ア	千円	17,738	24,521	23,670	10,796	13,148	14,500	14,500	14,500	
	イ	千円	2,683	1,272	1,410	1,194	2,620	1,500	1,500	1,500	
② 対象指標	ア	%	9	9	9	8.7	9	9	9	9	
	イ	%	11.64	11.64	11.64	11.64	11.64	11.64	11.64	11.64	
③ 成果指標	ア	%	100	100	100	100	100	100	100	100	
	イ	%	100	100	100	100	100	100	100	100	
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円				2,551				
		地方債	千円	17,700	23,300	22,200	10,300	12,700	14,500	14,500	14,500
		その他	千円		1,221	1,470	1,690	3,293			
		繰入金	千円	38							
	一般財源	千円					1,500	1,500	1,500	1,500	
人件費	(A) 事業費計	千円	17,738	24,521	23,670	11,990	18,544	16,000	16,000	16,000	
	(A)のうち指定経費	千円	17,738	24,521	23,670	11,990	18,544	16,000	16,000	16,000	
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
人件費	正規職員従事人数	人	5	6	4	3	5	4	4	4	
	延べ業務時間	時間	47	56	55	24	55	55	55	55	
人件費	(B) 人件費計	千円	189	227	223	95	223	223	223	223	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	17,927	24,748	23,893	12,085	18,767	16,223	16,223	16,223	

事務事業名	熊本北部流域下水道事業建設費負担事業	所属部	水道局	所属課	上下水道課
-------	--------------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は25年度の後評価、ただし複数年度事業は25年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①25年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②26年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 事業計画に基づいた適正な負担金を計上しており、目標を達成できる見込みである。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 適正に精算されており向上の余地はない。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 各事業の区域に限られた業務であるため、統廃合・連携はできない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 合志市に求められる必要最低限の経費であり削減の余地はない。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最小限で事務をしており、これ以上削減の余地がない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 北部流域下水道事業の恩恵を受ける区域から、受益者負担金及び使用料を徴収しており公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 公共性の高い事業であり、負担割合も適切である。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

事業計画に則り適正に負担金を精算できた。

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p> <p>現状を維持する。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	○			低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持	○																				
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p>																						